

いのちの森づくり 2020 植樹祭実施レポート

団体名		ABMORI 実行委員会
活動名		A B M O R I
実施日		2019 年 6 月 1 日 (土)
実施場所		会場：長野県・志賀高原総合会館 98 植樹地：蓮池スキー場跡
実施状況	参加人数	1,000 名
	植樹本数・面積	9,070 本 ・ 3,055 m ² (3 本/m ²)
	植樹樹種	ミズナラ、ブナ、カツラ、ウラジロモミ、ナナカマド、レンゲツツジ、シナノキ、イタヤカエデ、トチノキ他 22 種
	指導先生の参加の有無	国際生態学センター 目黒伸一主任研究員
	実施内容・イベント	開会式会場は 1998 年長野オリンピック競技会場で建てられた総合会館で長靴でも入れるよう玄関からシートがひいてあった。山ノ内町役場が実行委員会をつくり役場職員が会場準備をした。植樹地はスキー場跡地でゆるやかな傾斜になっていた。 エスベックミックが指揮しボランティアの NPO・ReNaFo が 8 名ほど苗木、ワラ、ワラ縄、移植ゴテの設置をし、マウンドもしっかり耕されて、ほっこら柔らかくなっていた。 ブロック・リーダーは地元高校生で座学と実技（45 分）で参加者に説明した。 何回も植樹を経験されている方も多く作業は順調に進んだ。開始後 1.5 時間ほどで植樹は終了した。
	活動の狙いや工夫等	市川海老蔵氏のあいさつ “未来の子供たちのために何が出来ると考え 2014 年から志賀高原の ABMORI をはじめて 6 回目を迎えます。この活動を続け緑豊かな未来をつくっていきますので、よろしくお願いします。” 海老蔵ファンが全国から 1,000 人集まって植樹祭に参加し木を植えた。マスコミ関係者も大勢取材にみえたので歌舞伎スターの発信力は非常に大きい。今後も継続されていくことを願う。
	特記事項 (参加者の声など)	家族連れで子供も多く、地元小学校 3 校の児童も参加した。 「木を植えるのは初めてだけど楽しかった。」 「自分の植えた木が大きくなったら、ここに見にきたい。」 天気がよく汗をかきながら楽しそうに植樹していた。 植樹が済んで小学校 3 校児童の集合写真を撮った。 真ん中には山ノ内町の竹節町長（ABMORI 実行委員長）が笑顔でにぎりこぶしをあげていた。

活動写真



総合会館 98 の開会式



リーダー研修の高校生



担当者連絡先

〒456-0023 愛知県名古屋市熱田区六野 1-3-1 ECO35
株式会社 三五 総合企画部 後藤幸雄
☎ 052-882-3593
E-mail y-gotou@sango.co.jp